



下大和田谷津田だより



2005年7月号

第65回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

6月5日 晴れ

今回はNHKレッツゴー！里山探検隊・千葉中央博物館・千葉日報社等と共催、大勢の参加者があり、6つのグループに分かれて谷津田の自然を観察しました。そのあと、虫取り、魚とり、俳句講座（俳人・坊城俊樹氏）、写真講座（石川松五郎氏）、田植え体験、クラフト作り、ブランコ遊び、山の手入れ、など思い思いに盛りだくさんに楽しみました。俳句講座では下大和田の常連千春ちゃん（10歳）が大人を抑えて優秀作品大賞に選ばれ坊城先生から表彰をうけました。参加した子どもたちからはディズニーランドより面白いと言う声がありました。

開花植物：ヒメジョオン、ハルジオン、ハハコグサ、オオジシバリ、ニガナ、コウゾリナ、ノゲシ、トキワハゼ、トウバナ、キュウリグサ、ミツバ、アカツメクサ、シロツメクサ、コメツブツメクサ、スカシタゴボウ、イヌガラシ、オランダガラシ、キツネノボタン、ケキツネノボタン、タガラシ、ノミノフスマ、アレチギシギシ、ドクダミ、キショウブ、ホウチャクソウ、ナルコユリ、クサイ、カモジグサ、カモガヤ、クサヨシ、ヒエガエリ、スズメノテッポウ、ゴウソ、オニスゲ、スイカズラ、エゴノキ、ウツギ。

昆虫：シオヤトンボ、シオカラトンボ、ヒガシカワトンボ、ヤマサナエ、モンシロチョウ、モンキチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、サトキマダラヒカゲ、ハナアブ、ヒラタアブsp、ミドリキンバエ、ヒメギス、カマキリsp、ナナホシテントウ、トホシテントウ、コフキゾウムシ、オジロアシナガゾウムシ、アカガネサルハムシ、ゲンゴロウsp、ゴマダラオトシブミ揺籃、ヒメクロオトシブミ揺籃。

野鳥：サシバ、ホトトギス、ヒヨドリ、カワラヒワ、コゲラ、ウグイス、セグロセキレイ、ハシボソガラス、
その他：メダカ、タモロコ、ドジョウ、ギンブナ、ザリガニ、ヨコエビ、カワニナ、マルタニシ、オオタニシ、マシジミ、ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエル、クサガメ。コモリグモspp.、アシナガグモ、ナカムラオニグモ、スジブトハシリグモ、コガネグモ。

（参加者：大人75人子ども35人；報告：網代春男）

第49回谷津田プレーランド・プロジェクト(YPP)

「古代米の田植えと田の草取り」

6月19日 くもり

5月のコシヒカリの田植えの時にモミをまいた古代米の田植えをしました。お日さまは雲に隠れていましたが、お陰で作業するにはちょうど良い陽気。まずは田んぼにはびこったコナギなど雑草取りから始めました。古代米田んぼは泥深いので1歩進むのに普通の倍くらいの力が必要です。人数が少なめで大丈夫かな？と心配だったのですが、遅めのお昼前には草取りと緑米の田植えを終えることができました。午後は隣の通称「マイ田んぼ」に移りましたが、こちらはひどい雑草で抜くのがとても大変。最後は握力がなくなって、腰がズンと痛くなったほどです。でも、草の間から飛び出してくるクモやちびガエルたちに応援されて、何とか緑米、赤米、黒米を植えることができました。畦の草刈りやコシヒカリの間に生えた背の高い雑草取りも終え、ひと安心。参加された皆さんお疲れさまでした。子どもたちはクワガタムシを捕まえたり、コガネグモを戦わせたり、思い思いに生きもの遊びを楽しんでいました。7月のYPPではそんな生きもの遊びにみんなで興じたいと思います。

（参加者：大人22人・小中学生6人・乳幼児3人、報告：高山邦明）

下大和田季節のたより

6月19日 斜面林の縁で柳が咲く。子供たちはノギリウガやクワガタを見つけて大喜び。マダアホをはじめ見る。カゲモの数が増える。田んぼでは卵塊やコガネを背負ったコリグモがたくさん走り回っていた（高山）

6月27日 田んぼにギンヤス、クワジギンヤス、シオカラトンボ、オシオカラトンボ、シメトシ、アジイトシなど様々なトンボが訪れる。刈の花にはシロリョウメンがいた。（網代）

雨が降り続いたり、晴れて真夏のような暑さになったりの繰り返し。そんな中、田んぼからは無数の赤とんぼが羽化し、足が生えそろったシュレーゲルアオガエルやアマガエルがはい出し、そして稲がぐんぐん背を伸ばしています。人間にとってはうとうしい梅雨も生きものにとってはとても大切な季節なんです。夜はホタルも飛び交うこの季節、身近の田んぼへ出かけてみませんか？

高山邦明